

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	平成5年度		
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	10 下水道
事務事業名	06	農業集落排水施設管理運営事業	
根拠法令・例規等	浄化槽法 水質汚濁防止法	問 担当課(室)	下水道課
		合 職・氏名	参事・高井利広
		先 電 話	0869-63-2330
		このシート作成に要した時間	4.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	排水施設使用者及び不特定多数
目 的 (何のために)	排水施設使用者及び不特定多数
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	排水施設の処理機能を維持し、処理水の水質を良好に保つ。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
農業集落排水施設管理運営事業	農業集落地区の汚水処理を目的に設置した4箇所の浄化センターの運転管理、水質分析、データ管理	◎	
	汚水送水を目的に設置したマンホールポンプの運転管理	○	
	汚水送水を目的に埋設している管渠の維持管理	○	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		55,938	40,048	31,978	
	必要人員(人件費)	千円	0.07人	572	0.04人	303
	事業費計		56,510	40,351	32,227	
	国県支出金					
	受益者負担					
	繰入金債	千円				
その他( )						
一般財源			56,510	40,351	32,227	
受益者負担比率	%		-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標	汚水処理量	説明	汚水を浄化し公共水域へ放流した水量			
	結果指標量	m	43,326	45,336	48,134	
	対前年比	%	-	104.6%	106.2%	
	活動コスト	円	56,510,000	40,350,670	32,227,149	
単位当たりコスト	円	1,304	890	670		

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
BOD値	目標値(A)	20	20	20	20
	実績値(B)	11	9	12	到達目標値
	達成率(B/A)	55.00%	45.00%	60.00%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
生物化学的酸素要求量：水中の有機物が微生物の働きによって分解される時に消費される酸素量。大きいほど汚れが基だしい事を示す。					

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託舎)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	C
効率性の評価	コスト		効率性評価 <A~E>
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら有効性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
説明	施設の維持管理は前年と同様に行っている。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
処理は概ね良好に行われており、引き続き処理機能を十分発揮できるよう維持管理を行う。	評価区分 <A~E>	B

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
取組目標	適正な維持管理に努め、計画的な保守点検や機械整備についての計画を策定し、効率的に実施していく。					